

夕暮れのイメージ

高萩シンボルのコンセプト
『記憶～過去・現在・未来』

<夜間の時間軸：映像と灯りの記憶>

駅に集う、帰宅・帰省時の心の情感。
市民アイデンティティの再確認としての
モニュメントの存在感。
そして情報発信とコミュニケーションの
主要なトポス（場所）として、
市民の手で創造していく未来志向。

【夜間の照明】

- ・高萩の季節の色
- ・照明時間（タイマー管理）
日の入1時間前～0:00
- ・駅前のアイキャッチ
- ・LED照明による省エネルギー

【現在の映像】

- ・市民のコミュニケーションボード
- ・観光、イベント案内
- ・企業、商店街の広告

コミュニケーションの例

- ・保育園、幼稚園、小中学校、
高校の各クラスや有志から
3分間程度の映像を毎月募集
して映像放映（子供たちによる
子供たちのためのシンボル）
- ・大人の同好会の成果を放映
- *コンテンツについては、
市民の方々と協議しながら
創り上げていく
（住民参加型のコンテンツ）
- *コンテンツは1～2時間、
映像は繰り返し放映

【歴史の映像】

- ・長久保赤水
- ・松村任三
- ・馬市、牛市
- ・ささら芸能

【未来への記憶】

- ・帰宅、帰省時の映像の記憶
- ・コミュニケーションボード
参加への記憶
- ・高萩への愛着
- ・子供や孫が住み続ける街へ

映像は音声と字幕を流して障がい者に配慮する

<凡例> 過去
現在
未来

昼間のイメージ

高萩シンボルのコンセプト
『記憶～過去・現在・未来』

<昼間の時間軸：シンボル本体の記憶>

シンボルに込められた記憶の断片。
市民の人々の記憶を想起させ、
過去の貴重な遺産を現在から未来に向け、
さらに大きく集約・集積していく
中心的な存在としてのモニュメント造形。

【塔】

- ・「希望の塔」の記憶
- ・駅前のアイキャッチ
- ・イベントの拠点

【ガラス】

- ・高萩の今（市民性、景観）を映しだす鏡
- ・市民の景観への配慮を促す（放置自転車など）
- ・駅舎とのマッチング（透明感）

<凡例> 過去
現在
未来

【レンガ】

- ・駅前の土地の歴史（レンガ工場）
- ・レンガ通りとの調和

【ソーラーパネル】

- ・省エネルギー
- ・未来へのメッセージ

ロータリー内にある草花はロータリーの外側歩道へ移設
（ロータリー内には芝生を植える）

車いすの方や盲人の方も草花やマロニエに触れることができる
（五感のユニバーサルデザイン）

【シンボルの五感】

- ・見る～映像配信
- ・聞く～検討中
- ・嗅ぐ～ロータリー外側歩道の草、花、木
- ・触れる～高萩の人々（映像配信）
- ・味わう～高萩の物産（映像配信）